

第2回 リレー講座 3.6.12

2021年度 第2回リレー講座を以下のとおり実施しました。多数のご参加ありがとうございました。講座内容の概要をまとめましたのでご覧ください。

担当者 群馬大学共同教育学部教育実践センター 教授 上原永次

日程 6月12日(土) 13:30~15:00

場所 Zoom 開催

講義内容「働き方改革 かるたづくり ～学校における働き方改革の行方を探る!～」

①教員の勤務時間に関わる問題

<勤務の長時間化の要因と考えられること>

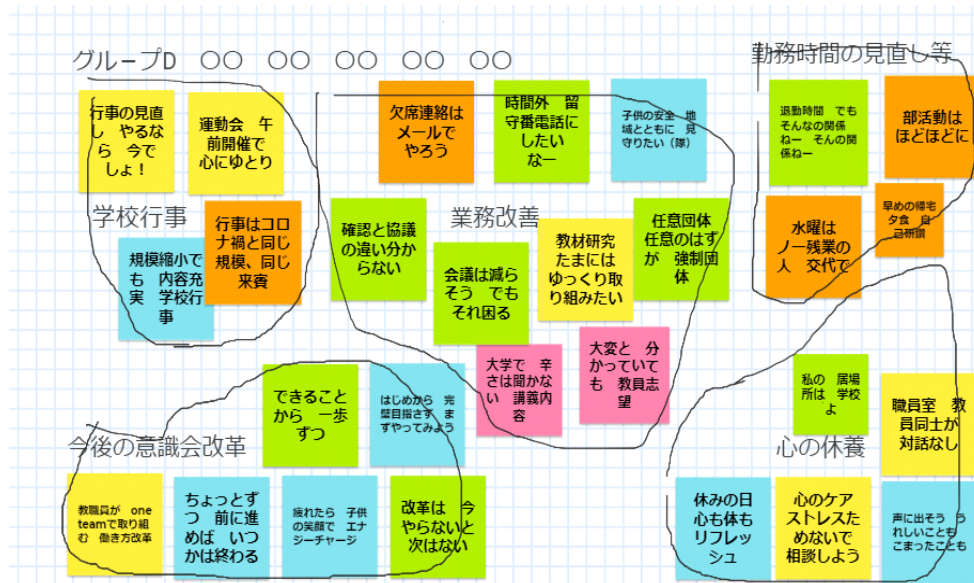
- ・新たな学校課題への対応(新学習指導要領・ICT教育・道徳・英語など)
- ・授業や部活動に従事する時間が増加
- ・部活動の休養日の設定等が浸透せず
- ・書類作成等への対応策が不十分
- ・時間管理の概念が希薄
- ・「子供たちのために」という使命感と責任感により、業務・仕事が拡大等

②群馬県の教員の勤務状況(省略)

③学校における働き方の課題を明確にする

- ①「かるた」づくり
- ②「かるた」の内容をグループ化(課題づくり)

課題の検討と方策



③課題の解決策の検討

| グループ○ | | |
|-----------|---|-------------------------------------|
| ①会議の持ち方 | ICTを活用し事前に資料配布。 各自見ておく。 会議は必要な時に短時間だけ | 建設的な意見を挙げる。 批判的な意見で会議を延ばさない。 |
| ②退勤時間 | 6時30分に閉庁する | ICT(ロイロノート、ミライシード) 活用やマークシート式を採用 |
| ③事務作業量の増大 | 学校行事の削減 | 地域やボランティアの人材活用 |
| ④意識改革 | 月に1度は、リモート学習 | |
| ⑤部活動の在り方 | 部活動あり方検討委員会を実施 地域やスポーツ協会の住み分け | スポーツ庁の民営化に対して ロールモデル県を構築、推進 |
| ⑥国・行政・社会 | 文科省、スポーツ庁との協議促進 協議で数値を情報提供 | 教育活動の意義や目的を見失 わない |

16

④全体交流・まとめ・感想（参加者の言葉）

○働き方改革は出来ないだろう、難しいと諦めず、出来るとしたら何なら出来るか考えて出来るところから取り組んでいきたい。今の自分の職でできる、実践例を調べ紹介したり実践したりしていきたい。

○優先順位をつけるだけではなく、「スクラップ」することを意識しながら働いていきたいです。必要のないと思うことは、議論の上で、思い切って捨てることも大切だと思います。当たり前、前列踏襲を止め、質と量の視点から、業務改善を図っていきたい。

○自分の分掌や学年の中で業務改善を行えるところを積極的に見つけていきたいと思いました。特に、私が担当する生徒会活動においては、子どもの気持ちや願いなどがあるため、しっかりと話を聞きながら一緒に進めていけるようにしていきたいです。学年では、学年会だけでなく日頃の些細なコミュニケーションを大切にし、子どもの少しの変化や悩みなどに対して全員が気づけるよう、率先して行動していきたいと思います。